

## 「今般のテレビ報道についての当校見解」

平成30年1月25日の毎日放送の報道は、少数保護者で非公式に組織された「明浄を見守る会（代表 安江能規氏）」が中心となった活動に関する内容でございました。明浄を見守る会代表の安江氏に対しては、本校への名誉棄損行為や損害賠償請求にて訴訟中でございます。当校としましては、係争中の段階であり生徒募集における重要な時期あることを考慮して、メディア関連の取材依頼をお断りしておりますが、今回の取材なき報道内容は偏向的なものとして捉えております。

内容としては、退職教員による学校批判や彼らによる裁判、教員の懲戒処分、保護者との裁判の件などから構成されていますが、いずれも現在の学校運営に批判的な一部の者による意見だけを取り上げて、あたかも、現理事会によって不当な学校運営が行われ、そのため学校全体が混乱状態に陥っているような印象を与えるもので、報道として著しく公平性を欠き、報道倫理に反するものではないかと考えています。

一部の保護者の意見、在校生のインタビューを手段とした報道こそが生徒の情操を乱す行為であり、扇動的な意図を感じます。

毎日放送は公共の利害に関わるといいながら、全国的な学校事情を調査もせず（私学高等学校での退職者は本校が特別多いわけではありません。SNS の内容がいじめにつながるなどその使用について注意を促進するのは教育上当たり前など）に本校への特集を恣意的に興味本位で編集するなど偏向的で看過できないものと考えております。いずれ裁判等で係争中の教員たちの本校でのそれまでの仕業や「明浄を見守る会」の行状が明らかになるでしょう。

明浄を見守る会の活動や不法行為については、明浄学院高等学校の多数の教職員有志より学校法人理事会と教職員と共同で抗議をしたいとする旨の文書を受け取っております。裁判が進行している状況となっておりますので、メディアでの取材やその他手段での情報公開（在校生からのインタビュー及び内部での伝達事項などを利用）は控えさせていただきますが、一連の案件については今後とも法的措置での解決を目指す姿勢でおります。当校に通学している生徒、状況を静観して頂いている多数の保護者様、OGのみなさまへはご心配をおかけし大変申し訳ございません。併せて間近に迫る高等学校入試の受験生、その保護者の皆様には、ご心配されることなく、試験に臨まれるようお願いいたします。当校としましては1月25日の報道が非公式な「明浄を見守る会」に加担した一方的な偏向報道であること、この時期にあえて報道する必要性があるものとも思えないことを指摘し、その意味でも学校組織の円滑な運営を阻害する恐れがある悪意によるものと捉えております。

また、当校や当校教職員に対しての、「明浄を見守る会」による不法行為や訴訟に至る経緯に関しては、文部科学省に報告をしております。

以上